

日本うま味調味料協会技術部会 御中

“化学調味料無添加”表示関連消費者調査 (2017/11月調査)

--- 調査結果解析報告書 ---

1. 調査概要
2. 主要結果
3. まとめ

2019年6月13日

株式会社 エム・ディ・アイ ラボラトリ

目次

1. 調査概要	
2. 主要調査結果	<ul style="list-style-type: none"> 1) 購入程度(Q1) 2) 購入決定要因(Q3) 3) 化学調味料理解と認識(Q4 & Q5) 4) “無添加”表示品認識 (Q6) 5) 化学調味料定義・物質名 (Q7自由回答) 6) “無添加”表示に対する意見 (Q8)
3. まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 1) 「うま味調味料」無添加表示の誤認誘因 2) 「化学調味料」無添加表示の誤認誘因 3) 「化学調味料」定義・物質名 4) 「化学調味料」該当種類の理解 5) 「化学調味料無添加」表示食品認識 6) 「化学調味料無添加」表示に対する意見

1. 調査概要

■ 調査目的：

一般消費者が“化学調味料”に対してどのような理解・認識・意識を持っているかを確認し、“無添加表示”に対する態度を確認する。
併せて“うま味調味料”との差異を確認する。

■ 調査方法：Web調査

■ 調査時期：2017年11月27日～11月30日

■ 調査対象：男女別15～74歳計800人を人口比で割り付けた総計1600人

■ 調査設問概要：

Q1 “無添加”表示食品購入程度

Q2 “化学調味料”/“保存料”/“合成着色料”イメージ
(自由回答)

Q3 無添加表示購入決定要因

- 1)化学調味料無添加
- 2)保存料無添加
- 3)合成着色料無添加

Q4 “化学調味料”理解

Q5 “化学調味料”認識 (9項目)

Q6 “無添加”表示品認識

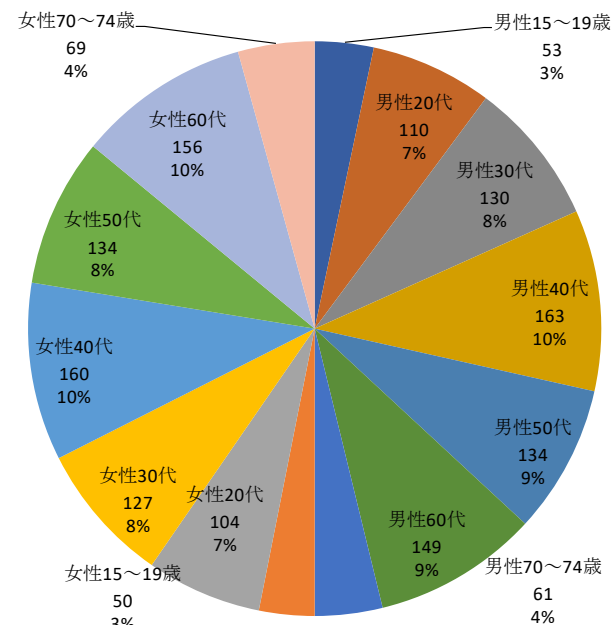
- 1) “化学調味料”無添加 (8項目)
- 2) “うま味調味料”無添加 (5項目)

Q7 “化学調味料”定義・物質名 (自由回答)

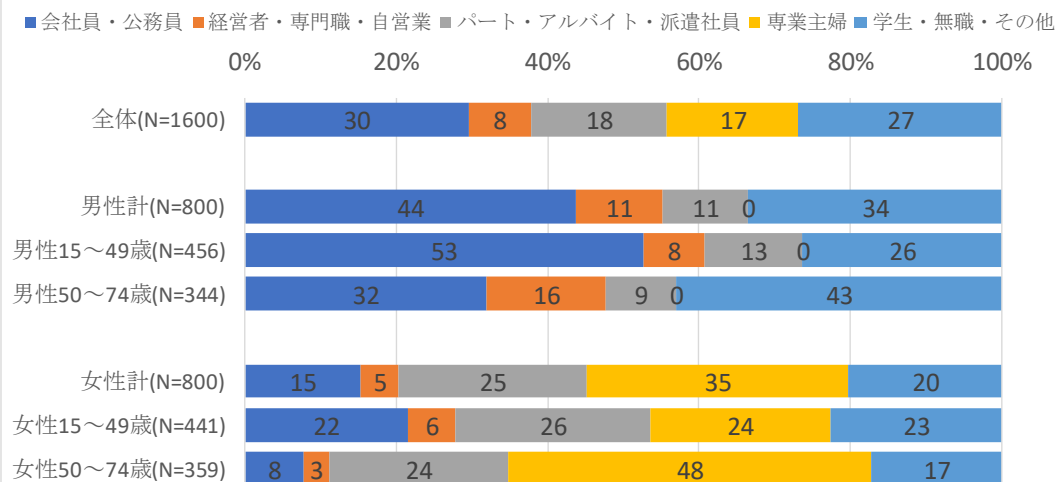
Q8 同一成分含有事実開示

- 1) 購入決定要因
- 2) “無添加”表示関連意見

調査サンプル数：性別年代別

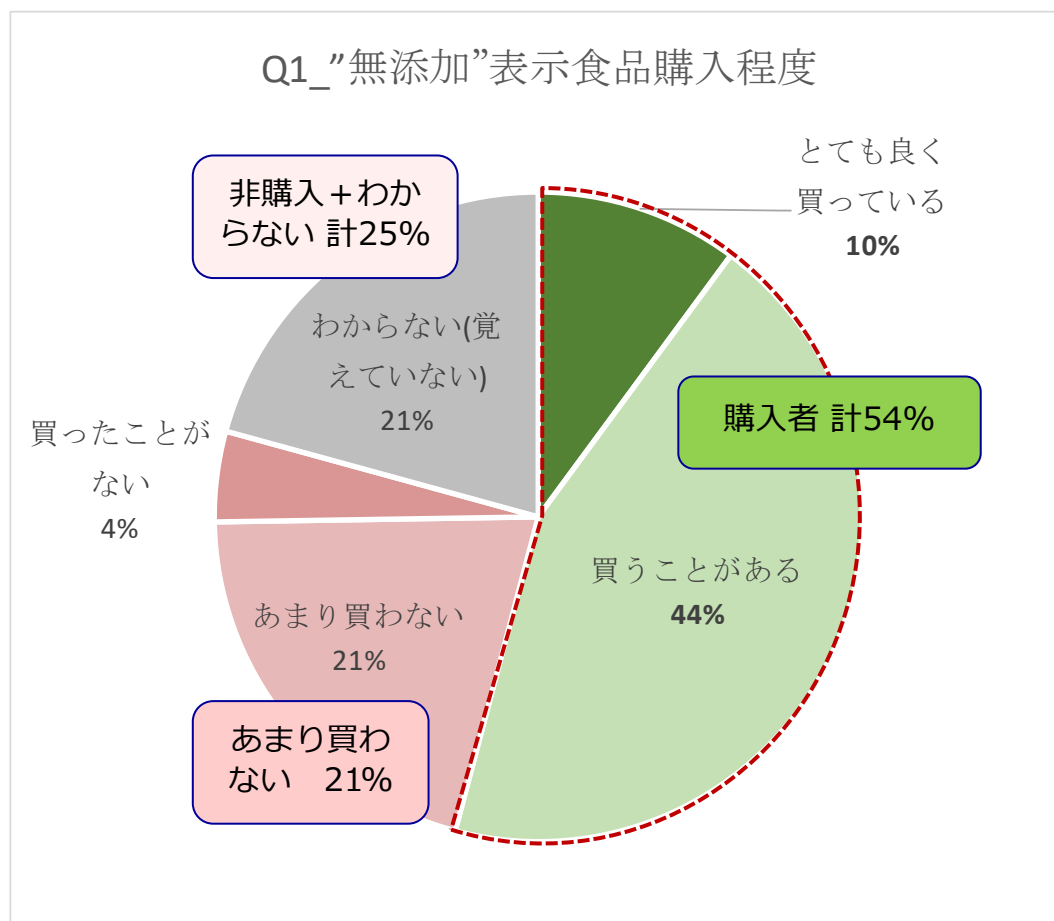


職業割合：性別年代別



- “無添加”表示商品を普段から買っている人は54%。
内、全体の10%は“とても良く”買っているが、残りの44%は“買うこともある”。

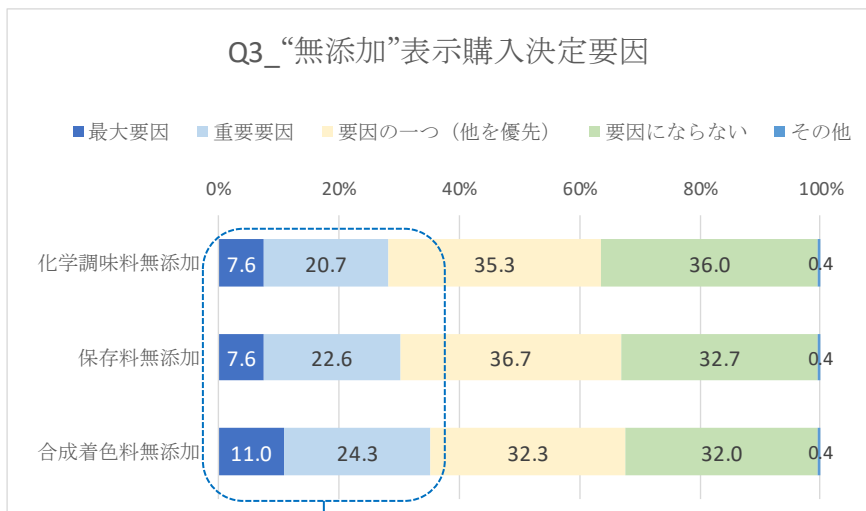
Q1 食品を購入される時に“〇〇〇無添加”と表示されたものをどの程度購入されていますか？



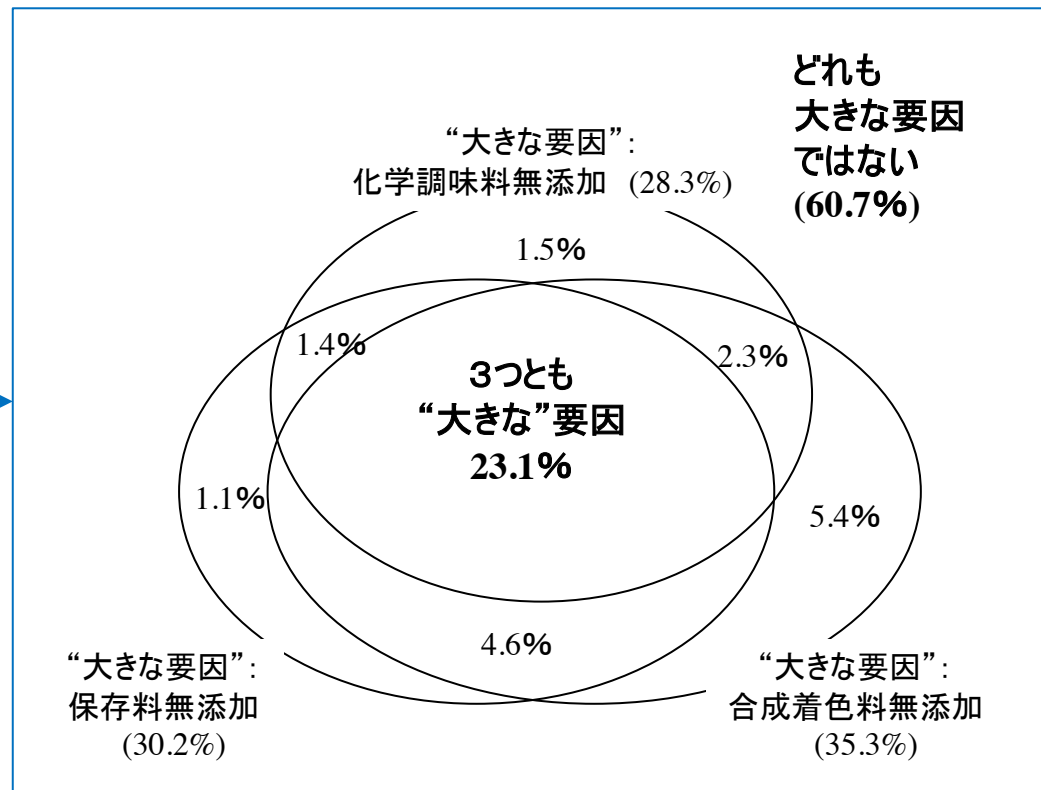
2. 主要結果：2) 購入決定要因 (Q3)

- “無添加”表示が購入決定の大きな要因（“重要要因”+“最大要因”）になる人は3割前後で、合成着色料が一番多い。
- “一つの要因とする”人と“要因としない”も3割強で全体に3等分されている状況。

Q3 食品を購入される時に以下に挙げる表示がされている場合にどの程度購入の決め手になりますか？



- “無添加”表示を購入決定の大きな要因（“重要要因”+“最大要因”）とする人の多くは重なっていて、どれかの“無添加”を“大きな要因”とする6割の人は3つとも“大きな要因”としている。
- 個別には合成着色料無添加のみを“大きな要因”とする人が一番多く5.4%。

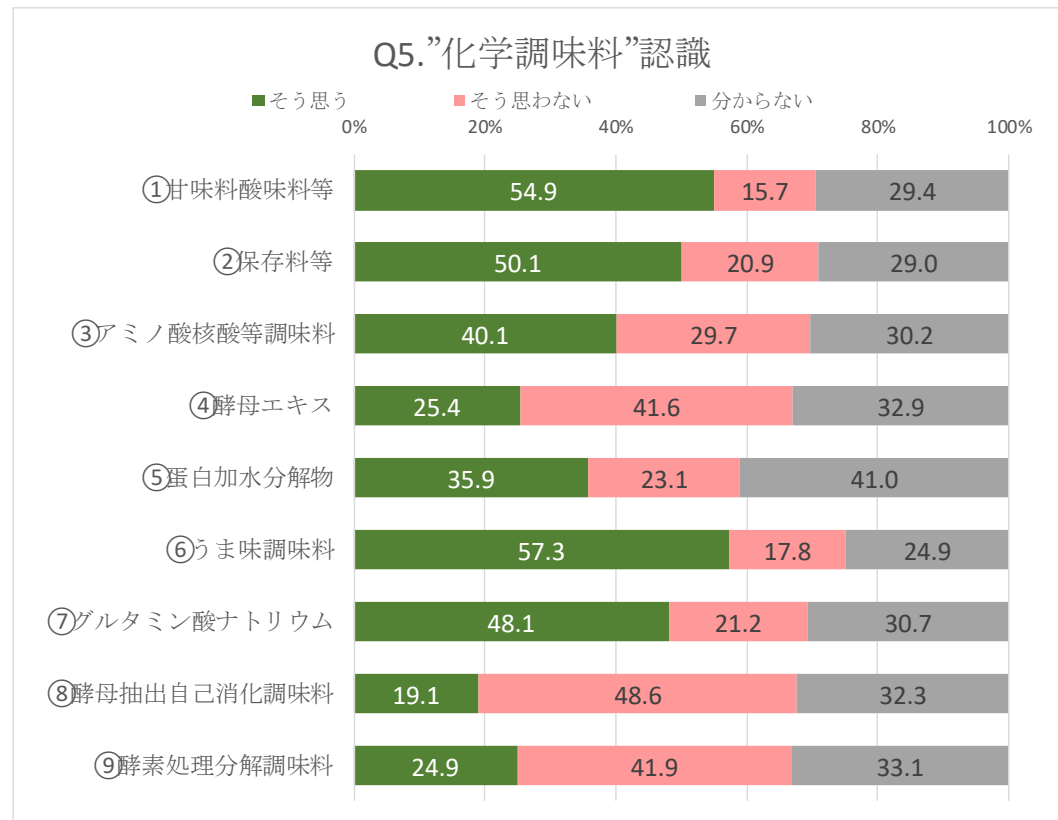
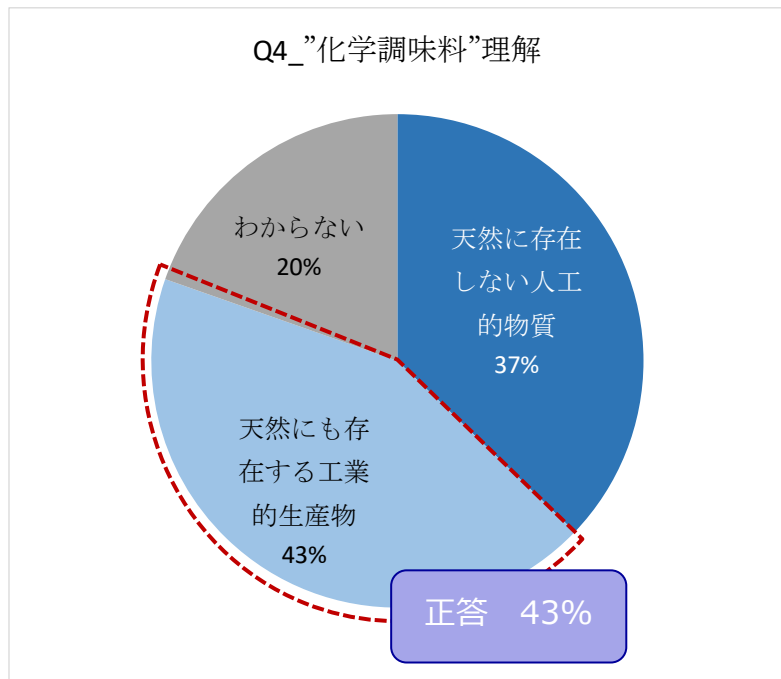


- 化学調味料を
 “天然にも存在” (= 正答) と答えた人は43%で、
 “天然に存在しない” (= 誤答) の37%を
 上回っている。
- “わからない”と答えた人も20%いる。

- “化学調味料”と思われる筆頭は“⑥うま味調味料”。次いで、
 “①甘味料酸味料等味関連添加物”、“②保存料等味以外関連添加物”、
 “⑦MSG”、“③アミノ酸等添加物”と続く。
 (“添加物”という言葉とその関連のものが高い数値を示す)
- “④酵母エキス”、“⑧酵母抽出”や“⑨酵素処理”は“そう思わない”という
 答えの方が多い。

Q4 “化学調味料”という言葉についてあなたの理解に当てはまるものはどれですか？当てはまるものを一つお答えください。

Q5 あなたの理解では“化学調味料”に入ると思えますか？
 (具体的製品・成分9項目)



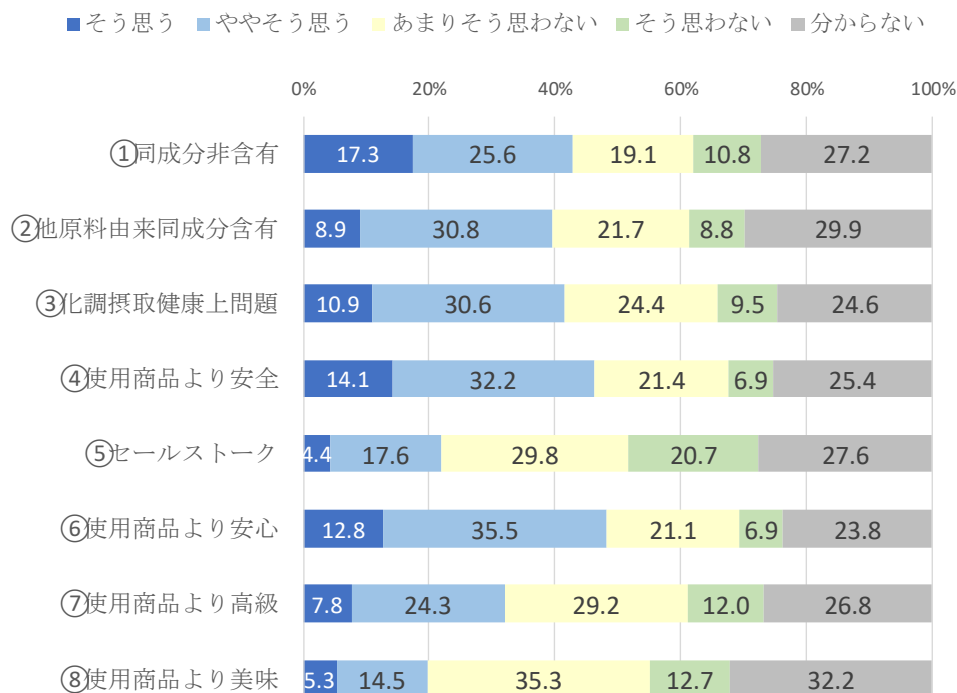
2. 主要結果：4) “無添加”表示品認識 (Q6)

- “無添加”表示品について、化学調味料・うま味調味料に関わらず約1/4~1/3の人ががどの設問に対しても“分からない”と答えている。
- 化学調味料・うま味調味料について同じ設問をした結果、“そう思う”+“ややそう思う”の人は、“健康上問題”・“使用商品より安全”・“使用商品より安心”では化学調味料無添加>>うま味調味料無添加で、うま味調味料無添加では肯定、否定が逆転している。
- “使用商品より高級”、“使用商品より美味”では化学調味料無添加≧うま味調味料無添加で差は大きくない。
- “化学調味料無添加”表示品は“①同成分は含有していない”と思っている人 (=誤答) は43%。
単なる“セールストーク”ではないと思う人は5割に達している。

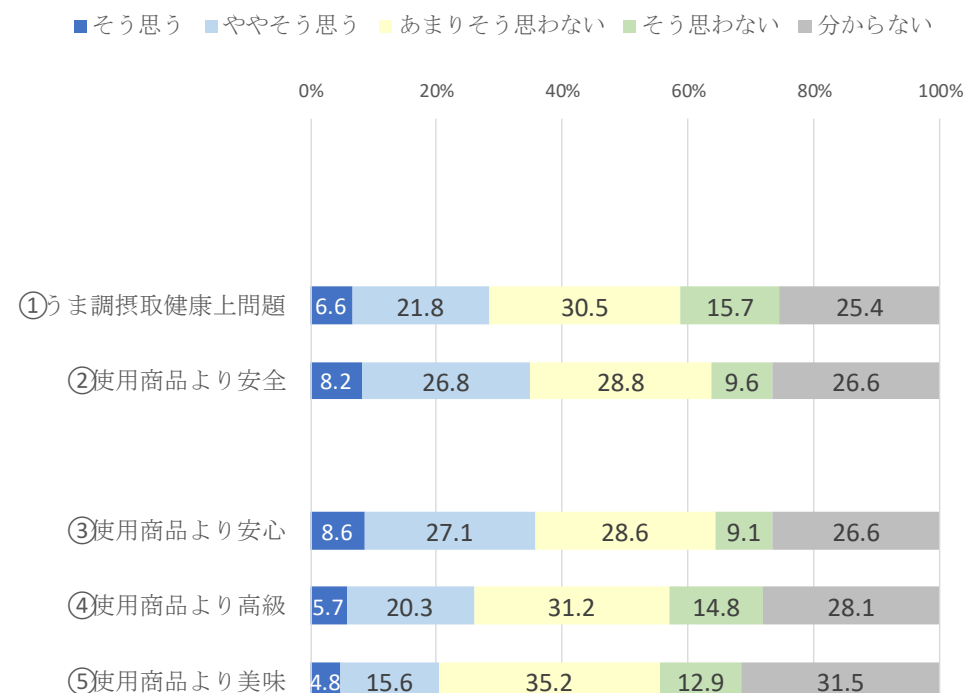
Q6a “化学調味料無添加”という表示のある食品を見た時にどのように思いますか？

Q6b “うま味調味料無添加”という表示のある食品を見た時にどのように思いますか？

Q6a.“化学調味料無添加”認識

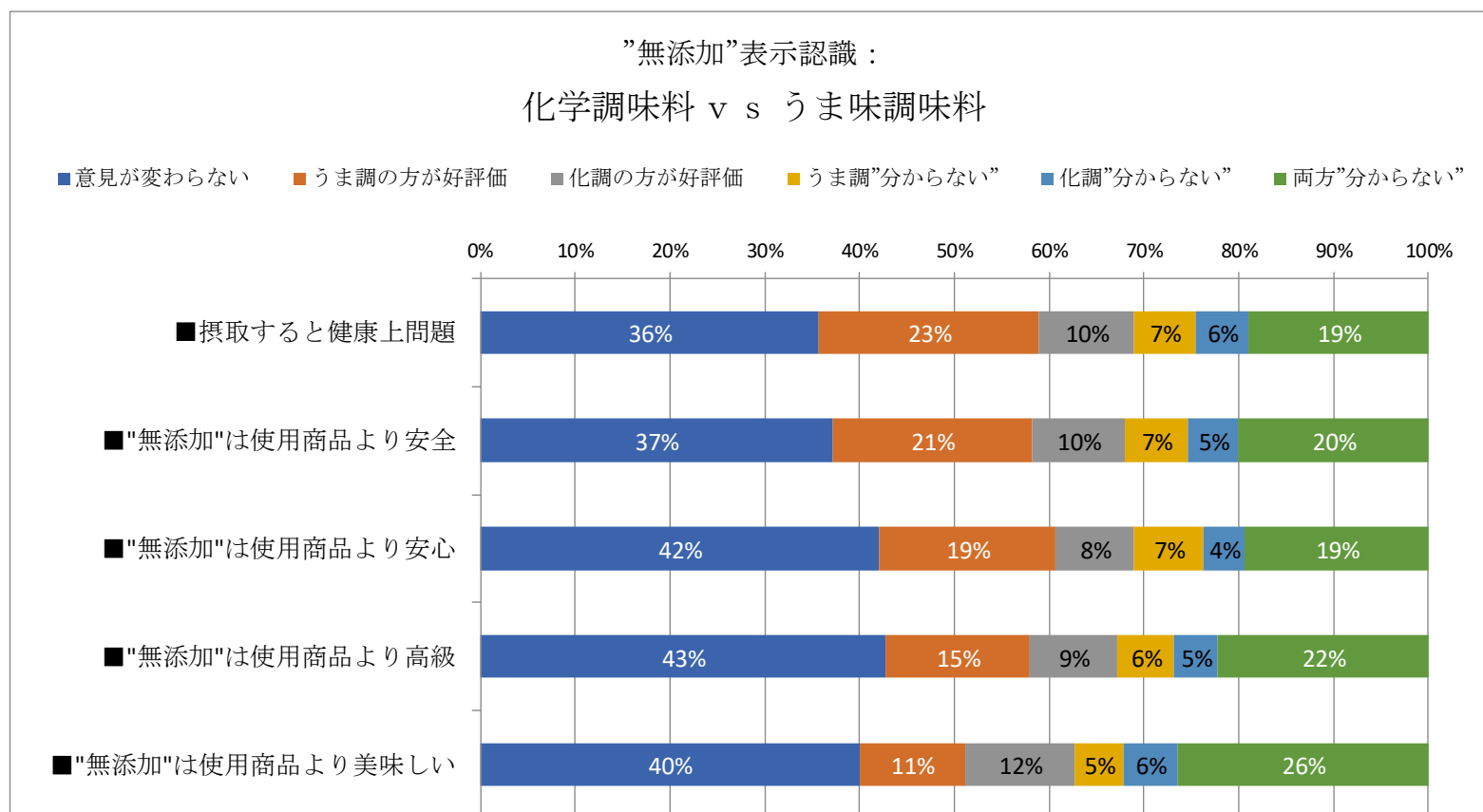


Q6b.“うま味調味料無添加”認識



Q6の化学調味料とうま味調味料の同じ項目の設問について回答者別に意見がどう変わっているかを見た。

- 化学調味料に対してとうま味調味料に対しての意見が変わらない人がどの項目も4割前後で最大。
- 意見の変わった人は全体にうま味調味料を良く評価している。
(→ “うま味調味料無添加”を評価しない)
特に“健康上問題”、“安全”、“安心”は言葉が変わるだけで2割前後の人が印象がよくなっている。



- 自由回答では「化学調味料」が何か分からない消費者が大多数で61%。
“分からない人”の割合は年代別には男女とも若年層>高年層で、女性の~39歳までは73%にのぼる。
- 回答した人の39%を内容で類型化すると、全体に対して、肯定的14%、中立9%、否定的16%となっている。
肯定的意見は女性で年代別の差が大きく60歳以上に多く39歳以下に少ない。

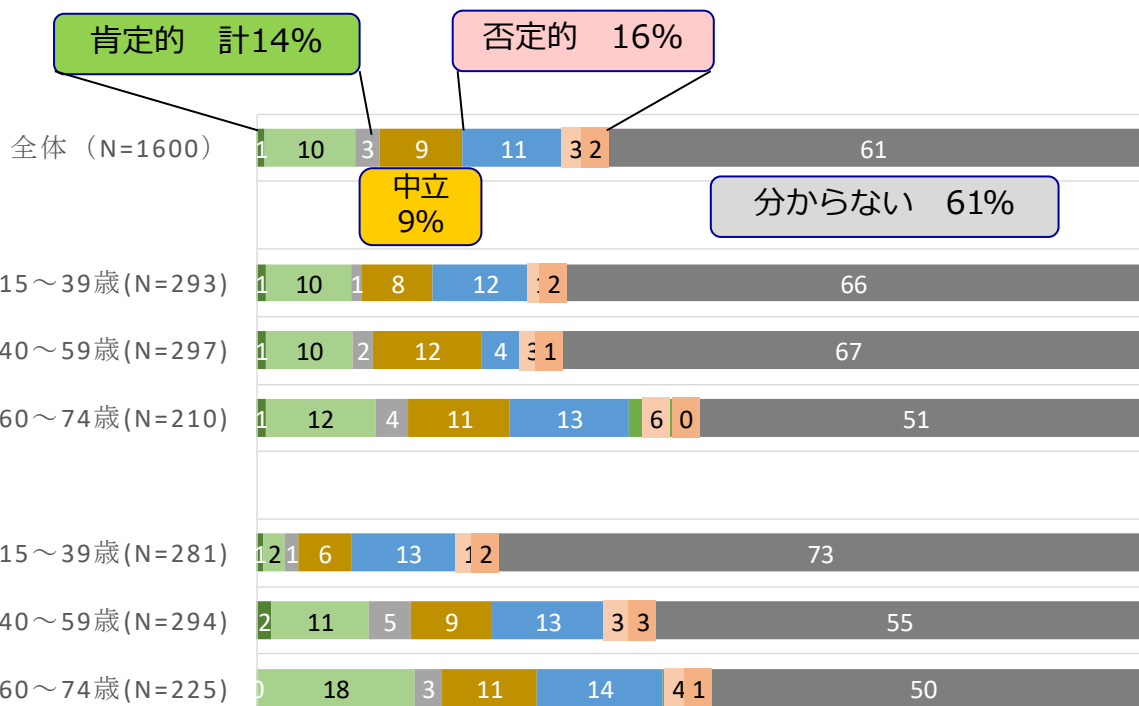
Q7 あなたは“化学調味料”はどのような物質からできていると思いますか？

“化学調味料”を構成している物質や、作られ方、定義などご存知のことがあればお書きください。

<自由回答具体例>

Q7.化学調味料定義・物質FA

- 詳細不詳肯定的
- 原料：自然/可食
- 合成/人工：天然関連
- 物質名/製法
- 合成/人工：非天然・自然
- 原料：石油等不可食
- 詳細不詳否定的
- わからない



【肯定的】原料・自然天然関連など

- ・サトウキビ、廃糖蜜
- ・植物や食品から抽出されたもの
- ・天然と同じ成分で化学的に合成した
- ・自然から得られるものと構造が同じ化学物質

【中立】物質名製法など

- ・グルタミン酸ナトリウム 味の素
- ・アミノ酸
- ・グルタミン酸ソーダ

【否定的】物質名製法など

- ・体に悪い
- ・自然界にはないもの
- ・石油製品
- ・自然界に存在しないもので、人によって作られたもの

【分からない】

- ・わからない
- ・特になし
- ・全く知りません

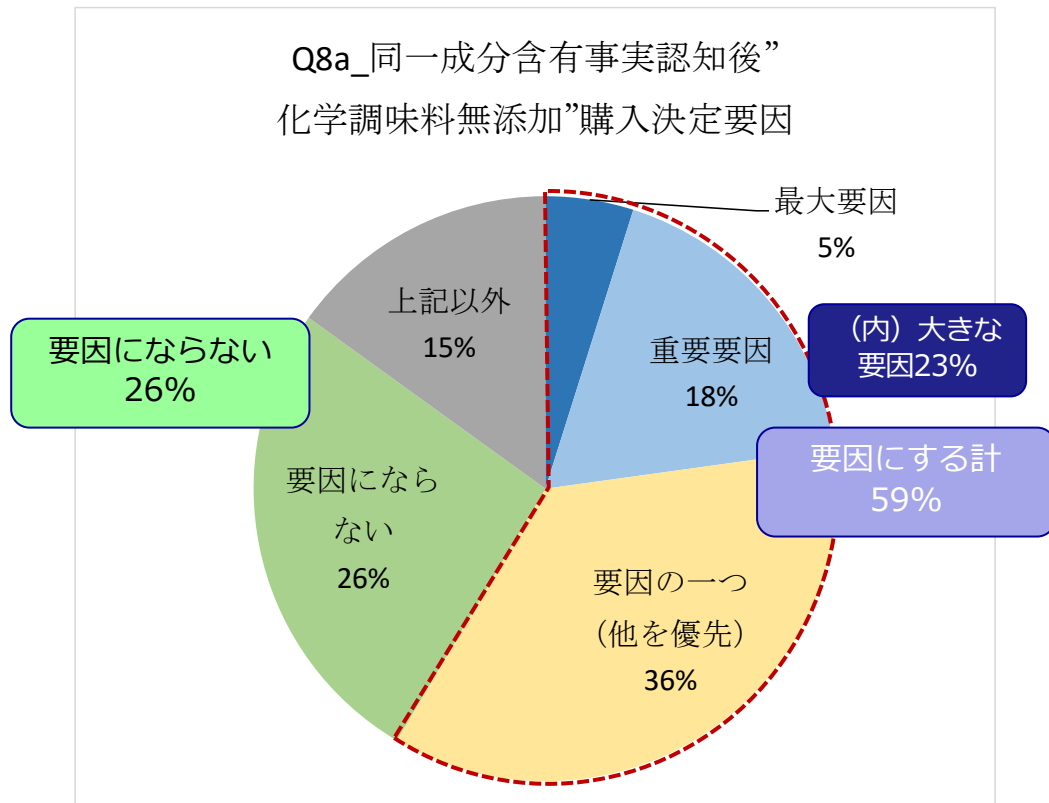
➤ 事実を認識後の購入決定要因は

- ・“無添加”表示が大きな要因になる人は計23%で初期の回答29%から6%減少。
- ・“要因の一つ”とする人は殆ど変化がなく、“要因にならない”が4%減少、大きな要因減少分と合わせて“上記以外”が増加した。

➤ 同一成分含有品のその事実の表示に関しては、“と思う”が4割前後であるが、“どちらともいえない”の方がいずれも多い。

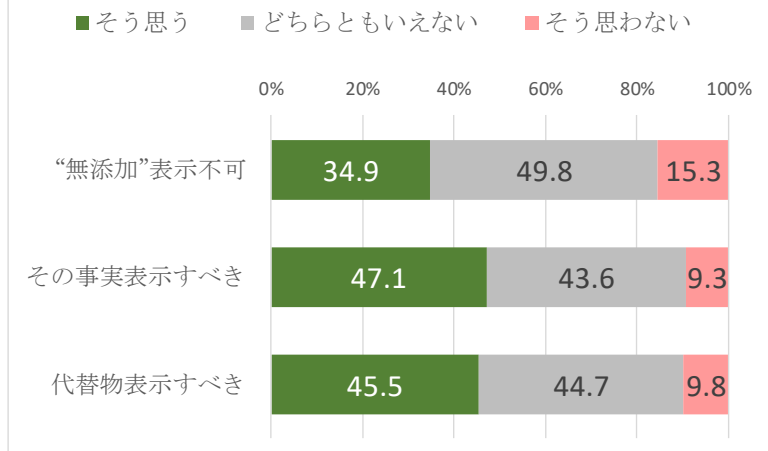
Q8a (他原料由来等の同成分含有の可能性の事実を知った後)、“化学調味料無添加”という表示のあるものに対するあなたの購入判断はどのようになりますか？

Q8a_同一成分含有事実認知後”
化学調味料無添加”購入決定要因



Q8b (同一成分含有事実認知後)：“無添加”表示に対する意見

Q8. (事実認知後) 同一成分含有品
”無添加”表示に対する意見



現在市場にはほとんど無いが、「うま味調味料」無添加表示は、3割前後の消費者に無添加品の方が安全・安心との誤認を招く恐れがある。
 但し、そう思わない人たちのほうが若干多く4割前後。

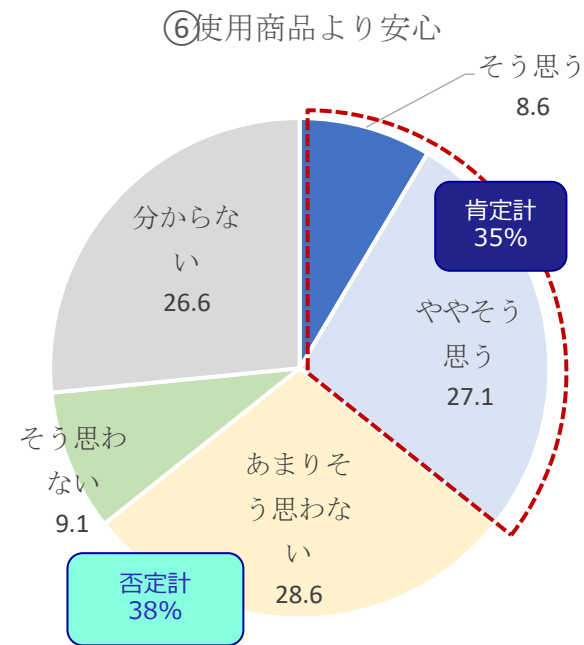
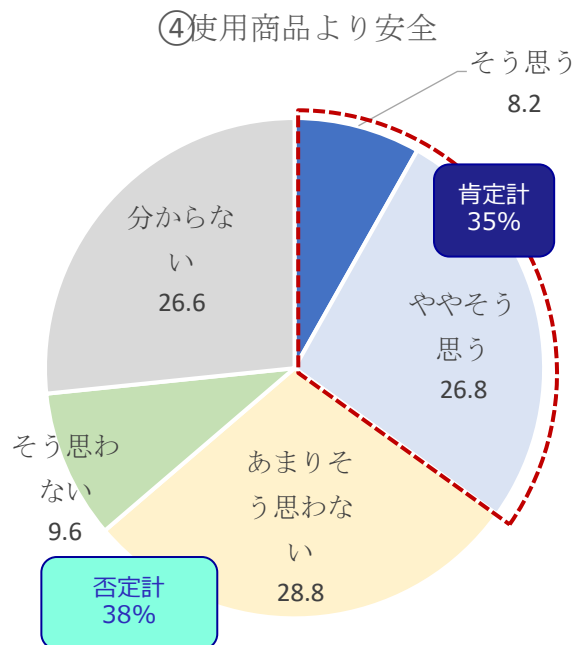
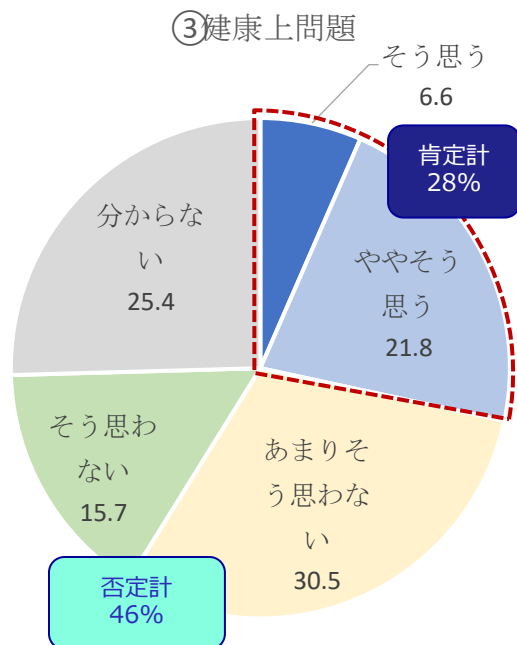
	肯定的	否定的
・「摂取すると健康上問題が起こる可能性がある」	28%	46%
・「うま味調味料を使った食品より安全である」	35%	38%
・「うま味調味料を使った食品より安心である」	35%	38%

Q6 “うま味調味料無添加”という表示のある食品を見た時にどのように思いますか？

“うま味調味料”は、摂取すると健康上問題が起こる可能性がある。

“うま味調味料”を使った食品より安全である。

“うま味調味料”を使った食品より安心である。



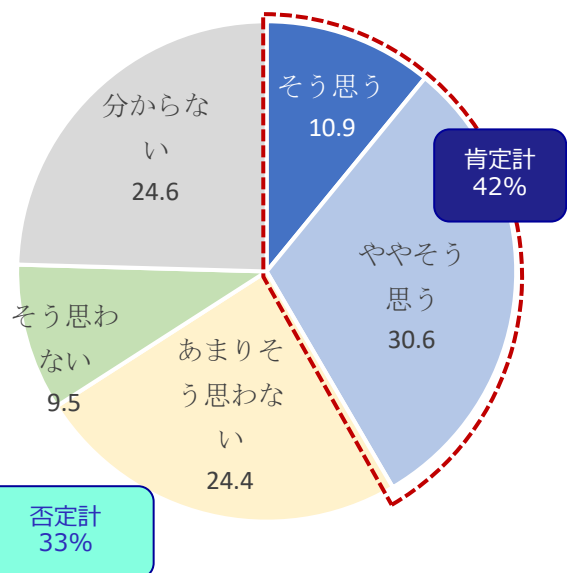
一方、「化学調味料」無添加表示の場合は肯定>否定となっていて、「化学調味料」という言葉が消費者の安全性に関する誤認を助長し、不安をより強くしていると考えられる。

	肯定的	否定的
・「摂取すると健康上問題が起こる可能性がある」	42% (うま味調味料27%)	33%
・「化学調味料を使った食品より安全である」	46% (うま味調味料35%)	29%
・「化学調味料を使った食品より安心である」	48% (うま味調味料35%)	28%

Q6 “化学調味料無添加”という表示のある食品を見た時にどのように思いますか？

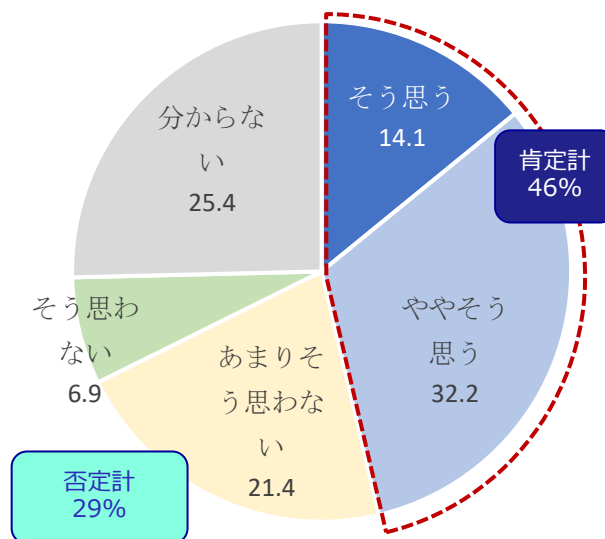
“化学調味料”は、摂取すると健康上問題が起こる可能性がある。

③健康上問題



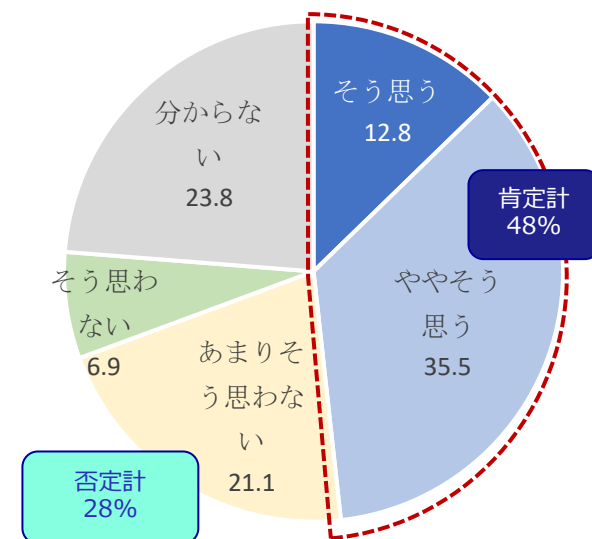
“化学調味料”を使った食品より安全である。

④使用商品より安全



“化学調味料”を使った食品より安心である。

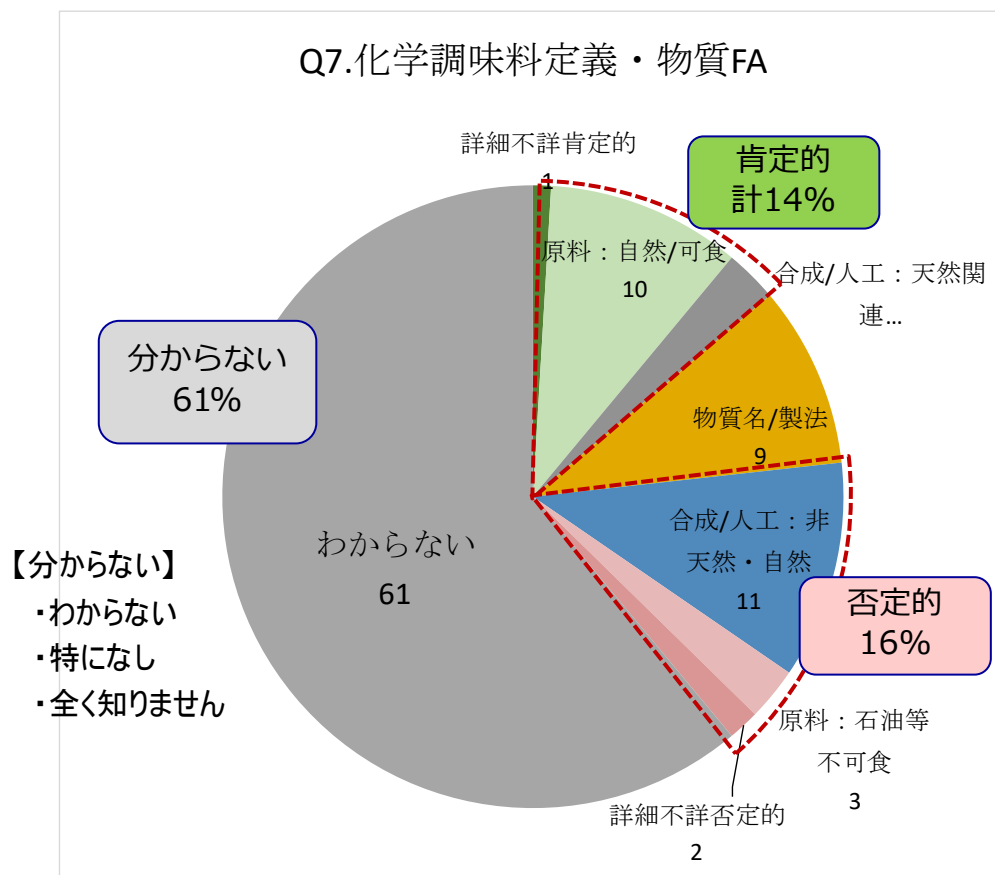
⑥使用商品より安心



自由回答では「化学調味料」が何か分からない消費者が多数

Q7 あなたは“化学調味料”はどのような物質からできていると思いますか？
“化学調味料”を構成している物質や、作られ方、定義などご存知のことがあれば
お書きください（自由回答）。

「化学調味料」の物質など定義について、61%の人は“分からない・知らない”、“特に思い
つくものはない”と回答。



＜自由回答具体例＞

【肯定的】・・原料・自然天然関連など

- ・サトウキビ、廃糖蜜
- ・植物や食品から抽出されたもの
- ・天然と同じ成分で化学的に合成した
- ・自然から得られるものと構造が同じ化学物質

【中立】・・物質名製法など

- ・グルタミン酸ナトリウム 味の素
- ・アミノ酸
- ・グルタミン酸ソーダ

【否定的】・・物質名製法など

- ・体に悪い
- ・自然界にはないもの
- ・石油製品
- ・自然界に存在しないもので、人によって作られたもの

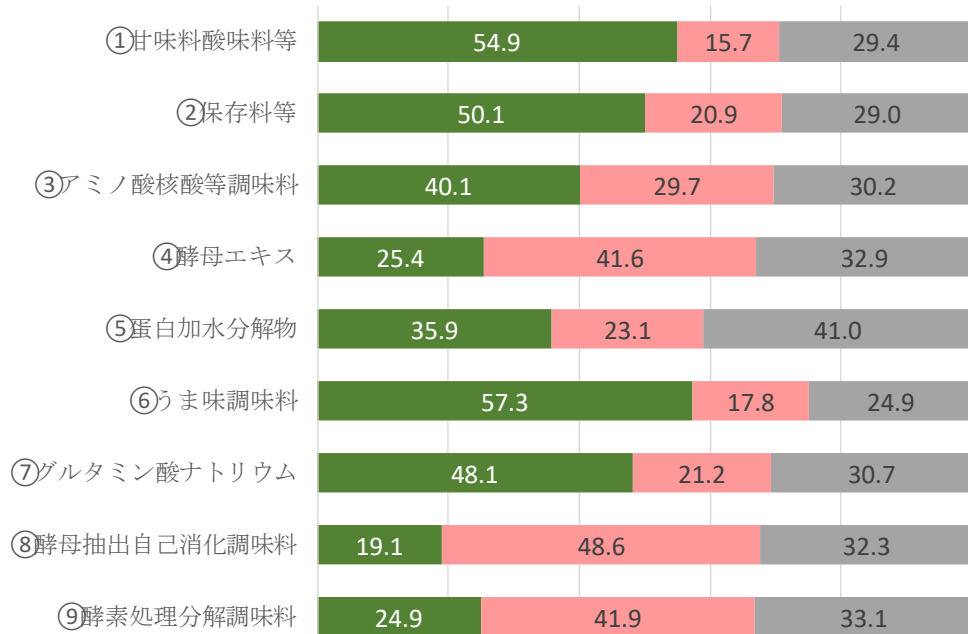
消費者は「化学調味料」をうま味調味料などの味に関連する添加物だけでなく、味に関連しない添加物も含めて幅広く捉えている。

また「化学調味料」が「アミノ酸核酸等調味料」「うま味調味料」「グルタミン酸ナトリウム」では無いと思う、または分からない消費者が相当割合存在し、消費者にとって「化学調味料」は曖昧な言葉となっている。

Q5 あなたの理解では“化学調味料”に入りますか？

Q5.”化学調味料”認識

■ そう思う ■ そう思わない ■ 分からない



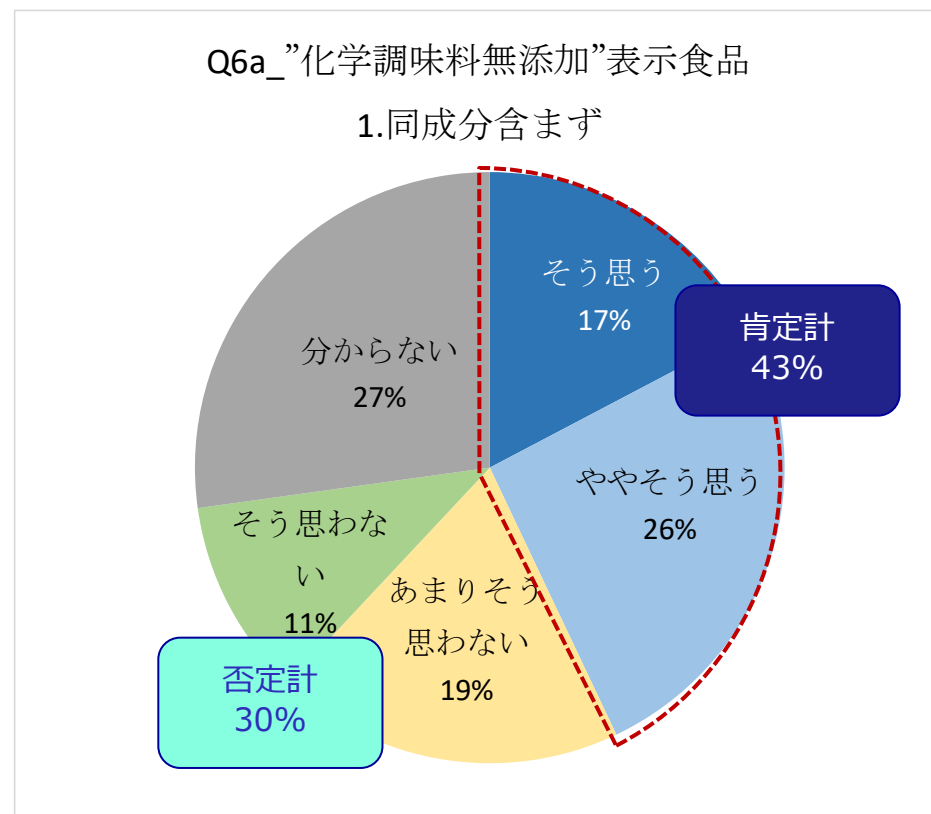
「味に関連する添加物」：そう思う 55%
 「味に関連しない添加物」：そう思う 50%
 「アミノ酸核酸等調味料」：そう思う 40%
 「うま味調味料」：そう思う 57%
 「グルタミン酸ナトリウム」：そう思う 48%

「アミノ酸核酸等調味料」：
 そう思わない又は分からない 60%
 「うま味調味料」：
 そう思わない又は分からない 43%
 「グルタミン酸ナトリウム」：
 そう思わない又は分からない 52%

酵母エキスやたん白加水分解物といった代替素材を使用した「化学調味料」無添加表示は、製品に「化学調味料」と同じ成分が入っていないとの誤認を招いている。

Q6a “化学調味料無添加” という表示のある食品を見た時にどのように思いますか？

「化学調味料と同成分は含まれていない」：そう思う又はややそう思う 43%

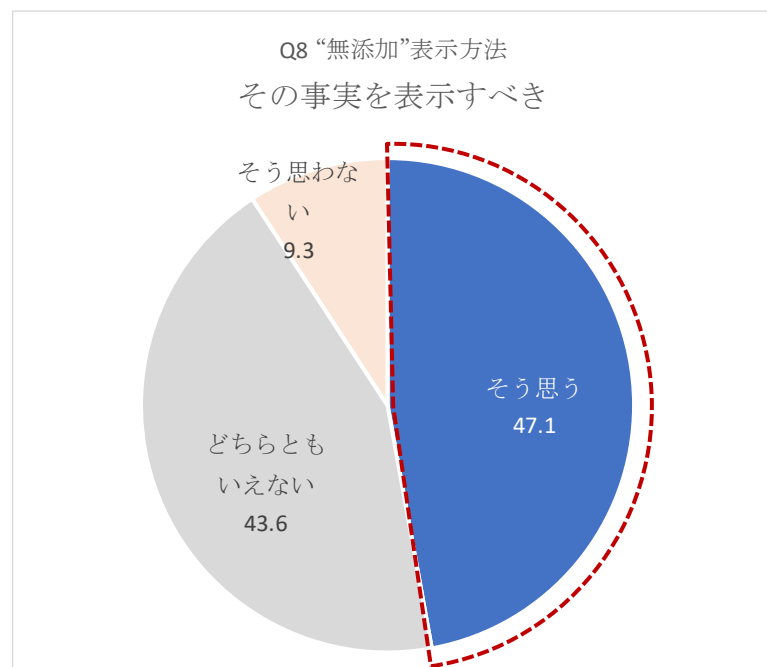


また、原料由来で「化学調味料」と同一の成分が含まれている商品には、その事実が分かるように表示すべきと思う消費者がいて、正確な情報提供が求められている。

Q8b “化学調味料無添加”という表示のある食品は、“化学調味料”を添加していないだけであって、原料製造段階や他の原料由来で“化学調味料”と同一の成分が含まれている可能性があります。こうした事実があることから、“化学調味料無添加”という表示の仕方について次のような意見があります。

原料由来で“化学調味料”と同一の成分が含まれている商品には、その事実が分かるように表示すべき：

そう思う 47%



原料由来で“化学調味料”と同一の成分が含まれている商品には、使用代替物表示すべき：

そう思う 45%

